



# Ubuntu 導入ガイド

あわしろ いくや/Ubuntu Japanese Team  
Canonical Ltd. and members of the Ubuntu Documentation Project

# 目次

Step 1 Ubuntuについて	1
1.1 Ubuntuオペレーティングシステムの背景と哲学の紹介	1
1.2 名前について	1
1.3 フリーソフトウェアについて	2
1.4 他との違い	3
1.5 デスクトップ環境	3
1.6 バージョン番号とリリース番号について	4
1.7 支援体制とサポート	4
1.8 Linuxとは?	4
1.9 GNUとは?	5
Step 2 インストールと環境構築	6
2.1 注意	6
2.2 スペック	6
2.3 公式版Desktop CDからインストール	6
2.4 最新の状態に更新	14
2.5 日本語ローカライズ版と同等にする	16
Step 3 Tips	21
3.1 SCIMの設定	21
3.2 簡単コーデックインストール	21
3.3 プリンタ	22
3.3.1 HP編	23
3.3.2 Canon/EPSON編	24
3.3.3 Brother編	25
3.3.4 Postscript(互換)プリンタ編	25
3.4 さらなる情報	26
3.4.1 書籍	26
3.4.2 Web	26
3.4.3 最新版	26
奥付	27
著者	27
Step 1 の著作権およびライセンス	27
Step 2/3 の著作権およびライセンス	28
商標	28
バージョン情報	28

# Ubuntuについて

## Ubuntuオペレーティングシステムの背景と哲学の紹介

このセクションではUbuntuについての紹介をします。Ubuntuの哲学と起源を説明し、Ubuntuに貢献する方法についての情報を提供し、Ubuntuのヘルプを得る方法を示します。

Ubuntu は将来に渡って常に無償であり、「エンタープライズ版」を作り価格をつけるようなことはありません。私たちの精一杯の成果を、すべての人に同一の自由な条件で提供します。

Ubuntu をできる限り多くの人々に利用して頂けるように、フリーソフトウェアが提供すべき翻訳およびユーザ補助機能の提供にベストを尽くします。

Ubuntu は定期的かつ予告どおりにリリースされます。新しいリリースは6ヶ月ごとに作成されています。利用者はその時点の安定版リリースか、開発版リリースのどちらでも使うことができます。どちらのリリースも、少なくとも18ヶ月の間サポートされます。

Ubuntu はオープンソースソフトウェア開発の原則に完全に則っています。すなわち、私たちは人々がオープンソースソフトウェアを使い、改良し、配布することを奨励します。

Ubuntu は Linux カーネルを中心に構築された、完全なオープンソースオペレーティングシステムです。

Ubuntu コミュニティは Ubuntu Philosophy<sup>1</sup> で掲げられた理想を中心に構成されています:

「ソフトウェアは、無償で利用できるべきであり、自分の言語で利用可能であるべきであり、あらゆる障害にかかわらず利用できるべきである。そして、利用者はソフトウェアを好きなようにカスタマイズおよび改変する自由を持つことができる」これらの理由のために:

詳細は the Ubuntu website<sup>2</sup> で探してください。

## 名前について

Ubuntu は人間同士の信頼や、お互いの関わりについての南アフリカの倫理的な概念です。この言葉はズールー族の、そしてコサ族の言語からきています。Ubuntu (「oo-BOON-too うおー ぶーん つうー」と発音します)は伝統的なアフリカで、南アフリカ共和国の創設原理のひとつと見なされ、アフリカの

---

1<http://www.ubuntu.com/community/ubuntu-story/philosophy>

2<http://www.ubuntu.com/>

ルネサンスについてのアイデアに繋がっています。

Ubuntu の根本原理を大まかに訳すと、「他者への思いやり」です。別に翻訳してみると、「すべての人類をつなげる普遍的な分かちあいの絆を信じること」といえるでしょう。

Desmond Tutu 大司教

「Ubuntu な人とは、オープンな性格で他人に貢献する気持ちがあって、自分以外を肯定的に捉えられる人のことです。Ubuntu な人は自分が大きな世界につながっているという確信から生まれる適度な自信をもっているために、他人の能力や親切をねたみません。他人が馬鹿にされたり落ち込んだりしたときには共に落ち込み、他人が苦しんでいるときにはその気持ちを共にします」

Linux ベースのプラットフォームとして、Ubuntu オペレーティングシステムはソフトウェアの世界に ubuntu の精神をもたらします。

## フリーソフトウェアについて

Ubuntu プロジェクトはフリーソフトウェア開発の原則に完全に則っています。すなわち、人々はフリーソフトウェアを使い、改良し、配布することを奨励されます。

「フリーソフトウェア」とは、費用なしで使えるという意味ではありません（もっとも Ubuntu は無償であることも約束していますが）。その意味は、ユーザはソフトウェアを希望するあらゆる方法で使えるべきだということです。フリーソフトウェアを構成するコードは、誰もがダウンロードし、変更し、修正し、あらゆる形で利用することができます。理念的な恩恵のほかに、この自由は技術的な利点もあります。プログラムの開発において、誰かの苦勞の成果を利用したり、さらに拡張したりできます。

非フリーソフトウェアであれば、こういったことは行えず、どうしてもゼロから開発を進めなくてはなりません。このため、フリーソフトウェアの開発は迅速で効率良く、すばらしいものとなるのです。

フリーソフトウェアと、その理念のおよび技術的哲学についての詳細は GNU website<sup>3</sup> で探すことができます。

## 他との違い

Linux を元にした、異なるオペレーティングシステムが数多く存在します。Debian、SuSE、Gentoo、RedHat、Mandriva などです。Ubuntu はこうしたすでに非常に競争の激しい世界の新たな挑戦者です。Ubuntu の違いとはなんでしょうか？

---

<sup>3</sup><http://www.gnu.org/philosophy/>

さまざまな分野で高く評価され、先進の技術を採用し、サポートが充実したディストリビューションの1つである Debian をベースとしている Ubuntu は、最新性と整合性を備えた Linux システムをデスクトップとサーバーの両方の用途に提供するディストリビューションを目指しています。Ubuntu には Debian ディストリビューションから選び抜かれた多数のパッケージが含まれ、その強力なパッケージ管理システムによってプログラムの容易なインストールときれいな削除が実現します。大半のディストリビューションが大量のソフトウェアを玉石混交で収録しているのとは対照的に、Ubuntu は高品質で重要なアプリケーションを厳選しています。

品質を主眼においたことで、Ubuntu は家庭用と商用のどちらにも適した、堅牢で多機能なコンピューティング環境を作り出しています。Ubuntu プロジェクトは細部を詰めるのに必要な時間を確保しつつ、最新かつ最高の今日のソフトウェアを採用したバージョンを6ヶ月ごとにリリースできます。Ubuntu は i386 (386/486/Pentium (II/III/4) ならびに Athlon/Duron/Sempron の各プロセッサ)、AMD64 (Athlon64、Opteron、新しい 64 ビット Intel プロセッサ)、PowerPC (iBook/Powerbook/G4/G5) の各アーキテクチャで利用できます。

## デスクトップ環境

Ubuntu のデフォルトのデスクトップ環境は GNOME<sup>4</sup> で、UNIX や Linux の主要なデスクトップ統合・開発環境のひとつです。

別の UNIX や Linux のデスクトップ環境として、KDE<sup>5</sup> があります。Kubuntu<sup>6</sup> プロジェクトは、Ubuntu ユーザにデフォルトの GNOME デスクトップ環境に代わる選択肢を提供します。Kubuntu チームの働きにより、Ubuntu ユーザは KDE デスクトップ環境を、容易にインストールして使用することができるようになりました。インストール済みの Ubuntu に重ねて Kubuntu をインストールするには、kubuntu-desktop パッケージをインストールしてください。一度 kubuntu-desktop をインストールしてしまえば、GNOME 環境と KDE 環境を選択することができます。

## バージョン番号とリリース番号について

Ubuntu のバージョン番号はリリースされる日付を元に付けられています。つまり、リリースされる年と月の番号で形成され、実際のソフトウェアのバージョンとは関係がないということです。最初の製品 (Warty Warthog) は 2004 年の

---

4<http://www.gnome.org/>

5<http://www.kde.org/>

6<http://www.kubuntu.org/>

10月にリリースされたため、このバージョン番号は4.10でした。今回の製品 (Feisty Fawn) は2007年の4月にリリースされたため、このバージョン番号は7.04となっています。

## 支援体制とサポート

Ubuntuは急速に成長するコミュニティに支えられています。プロジェクトは Canonical Ltd.<sup>7</sup> に支援されています。同社は Mark Shuttleworth が設立した親会社です。Canonical は Ubuntu 開発の中核メンバーを雇用し、Ubuntu のサポートやコンサルティング業務を行っています。

Canonical Ltd. は他にも多くのオープンソースソフトウェアのプロジェクトを支援しています。詳細については Canonical の Web サイトを参照してください。

## Linuxとは?

Linux カーネル<sup>8</sup> (リナックスと発音) は Ubuntu オペレーティングシステムの心臓部です。カーネルはどんなオペレーティングシステムでも重要な部分であり、ハードウェアとソフトウェアの間の通信の橋渡しをします。

Linux は1991年にフィンランド人学生 Linus Torvalds 氏によって、生を授けられました。その時点では、i386 システムでしか動作せず、本質的に独自に開発された UNIX カーネルのクローンであり、当時最新の i386 アーキテクチャを活用することを意図していました。

今日では、世界中の人々の十分な開発努力のおかげで、Linux は事実上全ての現行アーキテクチャで動作します。

Linux カーネルは技術面ばかりでなく理念的な重要性も帯びてきています。フリーソフトウェアの理念を信奉する人々の強固なコミュニティがあり、オープンソース技術をできる限り改善することへの協力に時間を割いています。

このコミュニティの人々はさまざまな活動を主導しました。例えば Ubuntu や、インターネットの発展を担う標準化団体、Mozilla Firefox の開発を進める Mozilla Foundation などの組織、その他の数々の過去にユーザーに実際に恩恵を与えてきたソフトウェアプロジェクトなどです。

Linux に通常認められるオープンソースの精神はあらゆるところのソフトウェアの開発者とユーザーを感化しつつあり、コミュニティを共通の目標に向かわせています。

---

7<http://www.canonical.com/>

8<http://www.kernel.org/>

## GNUとは？

GNU プロジェクト(グヌーと発音)は 1984 年に開始され、フリーソフトウェアからなる完成された UNIX 形式のオペレーティングシステム(GNU システム)の開発を目指しています。GNU オペレーティングシステムの変種として、Linux カーネルを用いたものがいまでは広く使われています。

GNU プロジェクトと密接に結びついたフリーソフトウェアの哲学は、Ubuntu などの派生したプロジェクトの中心をなしています。

## インストールと環境構築

### 注意

ここではまっさらのマシンに新規インストールすることを想定して説明します。もし Windows などほかの OS とデュアルブートにする場合は、データの損失を想定してバックアップを取ってください。自信がない場合は VMware のイメージを使用することも考慮してください。得てして失ったデータを取り戻すことは困難か不可能です。

### スペック

リリースノート<sup>9</sup>にはメモリが 256MB 必要と書かれているだけです。ほかにはハードディスクの空き容量が 3GB 以上必要です。

もちろん低スペックのマシンで動くことを保証しているものではないことにご注意ください。

---

<sup>9</sup><http://www.ubuntu.com/getubuntu/releasenotes/704>



## 公式版Desktop CDからインストール

から起動の画面にここで[Language]語を、[F4] [1024 x 768]を選択しますが、これはありません。エンタを押してしつと、このります。デプの2版コンをダックするインストール開

ます。インス最初の画面し英語にる場合は、[Japanese]てくださ

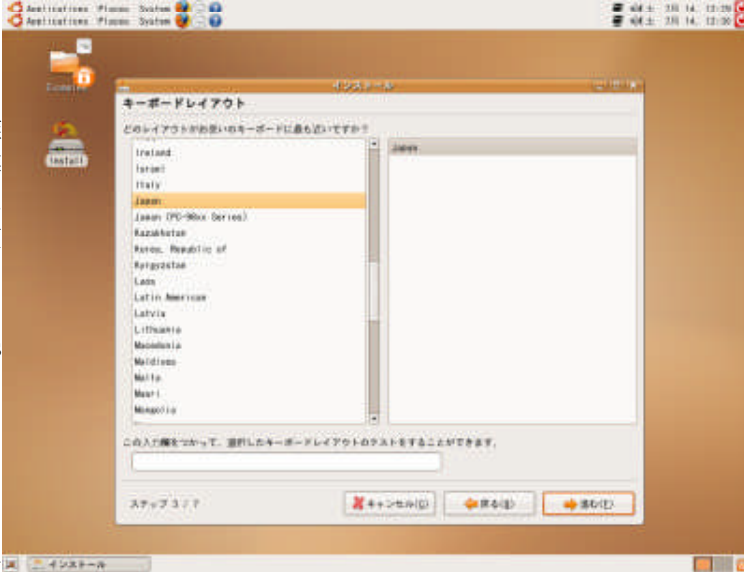


CD-ROMするとこなりります。は[F2]で[日本語]を[VGA]を[680 x 480]としています。必須ではありません。キーをばらぐ待画面になスクトツ目のアイブルクリと、インス始になり

ローラの画面です。もなっている左側からを選択しい。

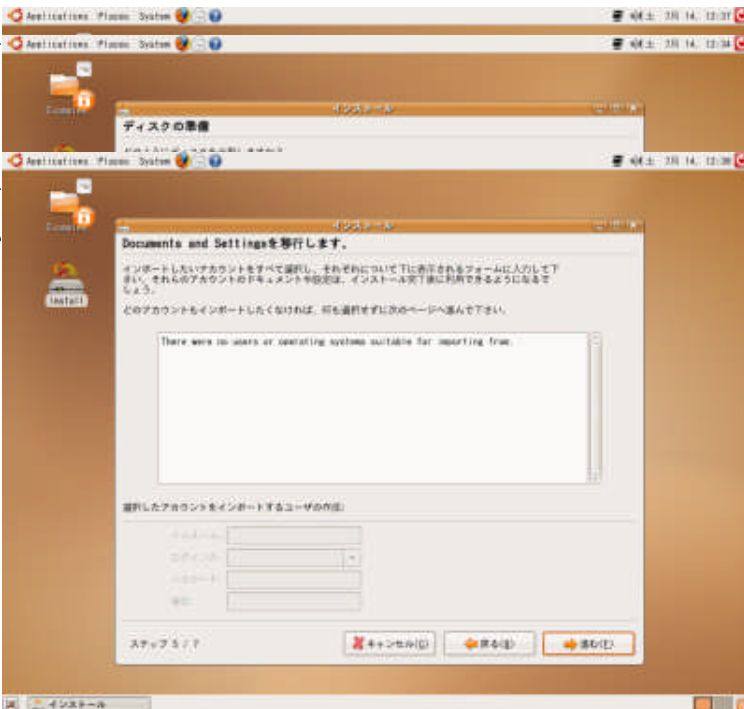
日本語を選択したら、そのまま[進む]をクリックすればいいでしょう。

キーボード  
フォルト  
しょう。  
一番難  
スクの準  
ここでは  
全体を使  
で2番目  
ます。も  
Windows  
のOSと  
ブートに  
て空きパ  
ーションが  
1番目を  
す。手動で  
場合は3番目を選択してください。



ードもデ  
でいいで  
しい[ディ  
備]です。  
ディスク  
用するの  
を選択し  
し  
などほか  
デュアル  
なってい  
一ティシ  
い場合は  
選択しま  
選択する

パーティ  
の確認画  
す。  
デュア  
の場合、  
環境のデ  
行するか  
ます。



イション  
面が出ま  
ルブート  
う一方の  
ータを移  
質問され

ログイン  
使用するユ  
ースワード、  
ト名を設  
これに  
終了です。  
クリック  
始するの  
があれば  
り直して

実際に  
ールが開  
す。

インス  
了後、選  
に  
関連す  
ージがダ  
ド・イン  
れます。

ダイア  
本語訳は、  
ールは完  
た。新し  
ールした  
を使用す  
は再起動  
がありま  
Live CD  
づけるこ  
ますが、  
変  
存されま  
ピ  
ュータ  
する前  
に  
いてくだ  
しな  
いと  
システムで

Live CD が再び起動してしまいます。」です。



ン時に使  
一ザ名、パ  
あとホス  
定します。  
て設定は  
[Install]  
を  
すると開  
で、変更  
点  
戻ってや  
ください。

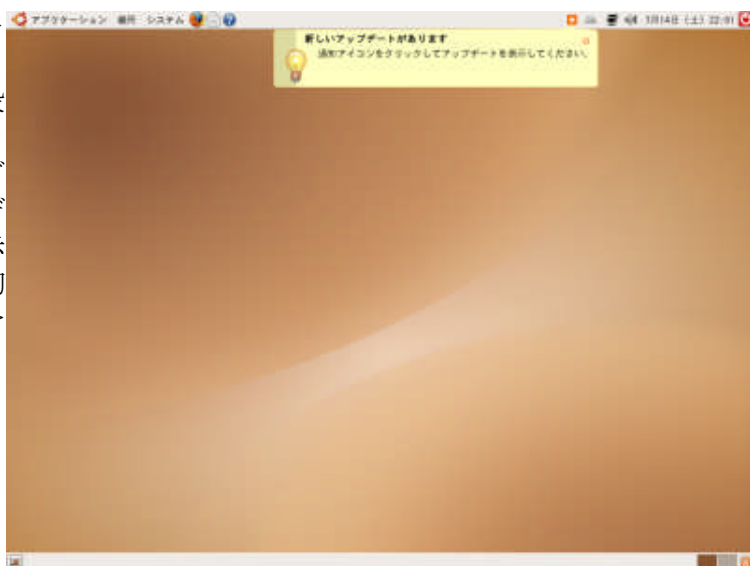
インスト  
始されま

ツール終  
した言  
語  
るパ  
ッ  
ク  
ウ  
ン  
ロー  
ールさ

ログの日  
「イン  
スト  
了しま  
し  
イン  
スト  
シ  
ス  
テ  
ム  
る  
た  
め  
に  
す  
る  
必  
要  
す  
。こ  
の  
を  
使  
い  
つ  
と  
も  
で  
き  
更  
点  
は  
保  
せ  
ん  
。コ  
ン  
を  
再  
起  
動  
CD  
を  
抜  
さ  
い  
。そ  
う  
新  
し  
い  
シ  
は  
な  
く

## 最新の状態に更新

CD を起動し、インストール時に設定したユーザー名とパスワードでログオンするところが表示されます。最初データを。

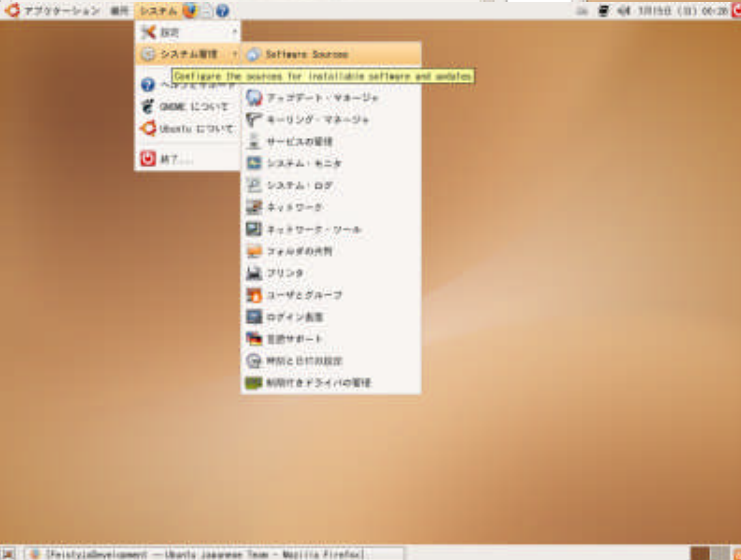
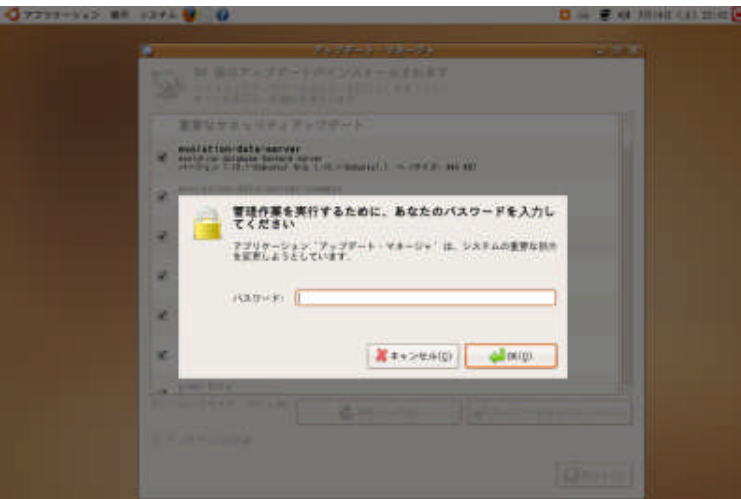


抜いて再インストールしたユーザーパスワードを入力するスクリーンが表示されます。にアップしよ

ポップ  
出ている  
のアイコン  
ックする  
ードを聞  
パスワ  
確に入カ  
アップデー  
ジャが起  
[アップデ  
ンストー  
ックし、ア  
トを開始  
ダウン  
アップグ  
完了する  
面になり  
た後、シス  
起動して

## 日本語 版と同等に

再起動  
変更して  
一カライ  
同等の環  
す。画面の  
[ Software  
起動しま

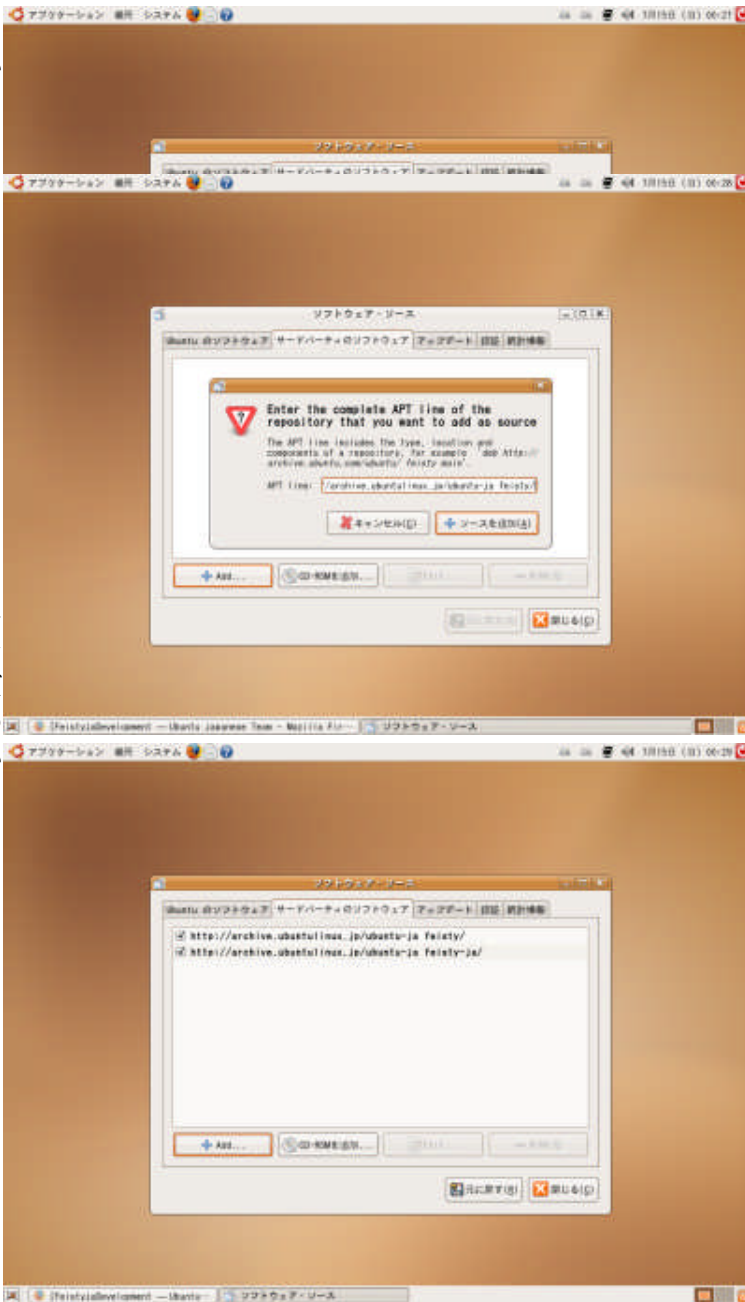


アップが  
オレンジ  
をクリック  
と、パスワ  
かれます。  
ードを正  
すると、ア  
トマネー  
動します。  
ートをイ  
ル]をクリ  
ップデー  
します。  
ロードと  
ロードが  
とこの画  
ます。閉じ  
テムを再  
ください。

## 一カライズ する

後、設定を  
日本語ロ  
ズバント  
境にしま  
とおりに  
Sources]を  
す。

[サード  
のソフト  
ブを開い  
[Add...]  
クしてく  
[deb  
ve.  
x.  
a feisty/  
て[ソース  
クリック  
度  
をクリッ  
[deb  
ve.  
x.  
a  
と入力し  
を追加]を  
してくだ  
上記の  
なってい  
です。



パーティ  
ウェア]タ  
て、  
をクリッ  
ださい。  
http://archi  
ubuntulinu  
jp/ubuntu-j  
と入力し  
を追加]を  
し、もう一  
[Add...]  
クして  
http://archi  
ubuntulinu  
jp/ubuntu-j  
feisty-ja/  
て[ソース  
クリック  
さい。  
とおりに  
れば成功



警告が  
[サードパ  
ソフトウ  
ンプルの  
つしかな  
全と考え  
で、[マー  
ックして  
再び警告  
されます  
をクリック  
ください。  
している  
ツールが  
す。一度ロ  
し、再ログ  
と新しい  
ります。

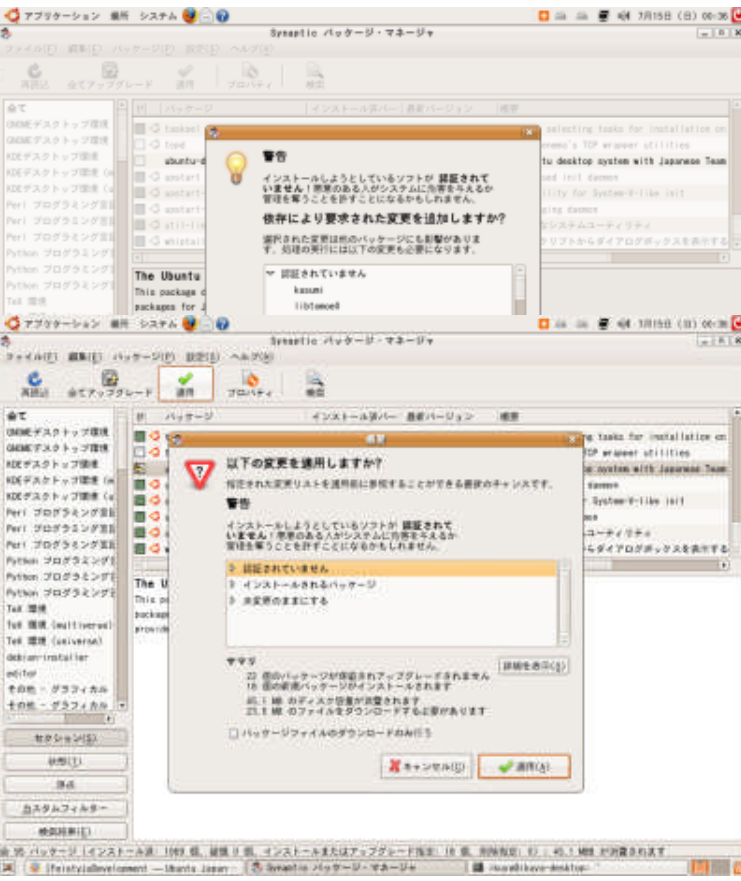
## Tips

## SCIMの設

「日本語  
ズ版と同等

パッケージ的には同等になりましたが、一部設定の変更まではできていないので、ここでは代表的なSCIMの設定である候補ウィンドウを縦にする方法を紹介し

[システム]-[設定]-[SCIM入力メソッド設定]を起動し、[パネル]-[GTK]の[候補ウィンドウを縦に表示]にチェックを入れます。[OK]をクリックすると以後候補ウィンドウが縦になります。



出ますが、  
一ティの  
エア]にサ  
おり 2  
ければ安  
ていいの  
ク]をクリ  
ください。  
告が表示  
が、[適用]  
クしてく  
ばらく待  
とインス  
完了しま  
グアウト  
インする  
環境にな

## 定

ローカライ  
にする」で



## 簡単コーデックツール

Ubuntuでは、標準できないCを使用したモデル(WMAや)が実行されるのCodecを検索しダウの機能があ



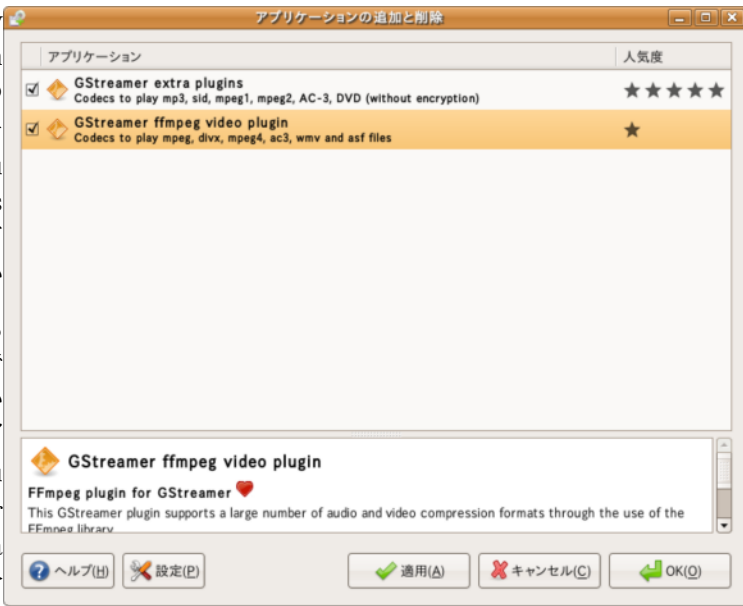
## ックインス

7.04以降では再生oddecを使用ファイMP3など)た場合、そ自動的にンロードすります。

使用方法は簡単で、そのメディアファイルをクリックするだけでウィザードが起動するので、その指示に従うだけです。

また、Java  
sh plugin  
reeなもの  
のインス  
トロー  
合は、"ubu  
ntu-restric  
ted-extras  
パッケージ  
をインス  
トールす  
るといい

それでも  
oは再生で  
できない  
ので、し  
たい  
dvdread3  
をインス  
トールし、  
/usr/share  
/libdvdre  
ad3/REA  
DME.Debia  
nに書いて  
ある方法  
を参考に  
してください。



a VMやFla  
などNon-F  
をまとめて  
ルしたい場  
合は、"ubu  
ntu-restric  
ted-extras  
パッケージ  
をインス  
トールす  
るといい

DVD-Vide  
oは再生で  
できない  
場合は"lib  
dvdread3  
をインス  
トールし、  
usr/share  
/libdvdre  
ad3/REA  
DME.Debia  
nに書いて  
ある方法  
を参考に  
してください。

## プリンタ

ここでは、各メーカーのプリンタのセットアップ方法を紹介します。

当然ですが、あなたがお使いのプリンタで動作することを保証するものではありません。むしろ使えない場合の方が多いかもしれません。ではどこのメーカーのプリンタならLinuxで使えるのでしょうか。一番確実なのは"Postscript"に対応したプリンタです。ただし、レーザープリンタしかありません。

インクジェットプリンタだと、HP(Hewlett-Packard)製が確実です。HPが自らドライバやユーティリティを作成し、配布しています。もちろんUbuntuでも使用可能です。

## HP編

設定に必要なHP純正ドライバやユーティリティのパッケージは入っているものの、起動するようにはなっていません。起動するためには"python-qt3"をインストールする必要があります。

あとは"sudo hp-setup"でHP Device Managerが起動するので、英語ですが指示にしたがって進めてください。

ユーティ  
リティを起  
動する場  
合は“hp-t  
oolbox”を  
起動してく  
ださい。

## Canon/EP

SON編  
プリンタ  
を接続し、  
[システム  
管理]-[プリ  
ンタ]-[新しい  
プリンタ]を起  
動します。  
[新しいプリ  
ンタ]をダブル  
クリックされ  
ている自動  
的に検出しま

The image shows three overlapping windows from the HP Device Manager software. The top window, titled "HP Device Manager - Printer Setup Wizard", displays a "Select from Discovered Devices" dialog. It lists one device found on the USB bus: "HP Deskjet 955c 5G9951V1BBKP hp://usb/Deskjet\_955C?serial=5G9951V1BBKP". The middle window, titled "HP Device Manager - HP Deskjet 955c", shows the configuration interface for the selected printer, with a "Print" button. The bottom window, titled "プリンタの追加" (Add Printer), is at "ステップ 1/3: プリンタ接続" (Step 1/3: Printer Connection). It prompts the user to select a printer type: "ローカルまたは検出されたプリンタ(L)" (Local or discovered printer), which is selected. Under "検出されたプリンタを使用(U):" (Use discovered printer), two options are listed: "Brother HL-5270DN series (Brother HL-5270DN series 192.168.1.40)" and "EPSON PX-V630 (EPSON PX-V630 USB #1)". The EPSON option is highlighted. At the bottom, there are buttons for "キャンセル(C)" (Cancel), "戻る(B)" (Back), and "進む(F)" (Next).

リティを起  
動する場  
合は“hp-t  
oolbox”を  
起動してく  
ださい。

## SON編

を接続し、  
[システム  
管理]-[プリ  
ンタ]-[新しい  
プリンタ]を起  
動します。  
[新しいプリ  
ンタ]をダブル  
クリックされ  
ている自動  
的に検出しま

[進む]をクリックするとドライバを選択する画面になります。

ここではPX-V630 なので、[PX V630]を選択します。

## Brother編

Brotherのプリンタ(だけではなく複合機のスキャナやPC-FAXもそうですが)はオフィシャルドライバが配布されている<sup>10</sup>ので、これを使用します。マニュアルも配布されているので特に困るようなことはないでしょう。もちろんUbuntuの場合はDebian用のドライバをインストールしてください。

配布されているパッケージをインストールしたらプリンタが自動的に登録されますが、これはUSBで接続されていることを想定しています。もしネットワークで接続している場合は設定をやり直してください。

## Postscript(互換)プリンタ編

Postscript対応プリンタはドライバが必要ないので、設定が極めて簡単です。プリンタを接続して[新しいプリンタ]をダブルクリックし、機種を選択して[進む]をクリックし、製造元[Generic]にして[Postscript]を選択します。



さらなる

## 書籍

『Ubuntu入門』<http://buntulin-nyumo>  
『ubuntu入門キッ』<http://www.sh.co.jp/cgi?isbn=4-7980-137>

情報

u 徹底入  
p://www.u  
ux.jp/tettei  
n  
Linux入  
ト』<http://uwssystem.i-bin/detail>  
n=4-7980-137

<sup>10</sup><http://solutions.brother.co.jp/support/os/linux/index.html>

## Web

Ubuntu Japanese Team: <http://www.ubuntulinux.jp/>

Ubuntu Japanese Wik: <https://wiki.ubuntulinux.jp/>

Ubuntu日本語Forum: <http://forum.ubuntulinux.jp/>

## 最新版

このドキュメントの最新版は、<http://ikuya.info/wiki/index.php?UbuntuInstGuide>で配布されています。

# 奥付

## 著者

Canonical Ltd. and members of the Ubuntu Documentation Project (Step 1)

あわしろいくや (Step 2/3)

### Step 1 の著作権およびライセンス

このドキュメントはUbuntu documentation team<sup>11</sup> が保守しています。貢献者は以下のとおりです。

Fumihito YOSHIDA, Jun Kobayashi, Kanetaka Suto, Masaki Komagata,  
Sho "Takeyari" Sone, Shushi Kurose, atsushix

このドキュメントは、Creative Commons ShareAlike 2.5 License (CC-BY-SA)のもとで利用可能とします。

このライセンスのもとであれば、利用者は Ubuntu ドキュメントのソースコードを自由に改変、加筆、改善することができます。すべての派生物はこのライセンスのもとでリリースしなければなりません。

この文書は利用者の便宜になることを期待して配布しますが、何らの保証をするものではなく、また、免責条項に記載のある通り、商品性や特定用途に対する適合性を暗黙に保証するものでもありません。

このライセンスのコピーは以下で参照可能です:Creative Commons ShareAlike License<sup>12</sup>

Canonical Ltd.とUbuntu Documentation Project 一同

### Step 2/3 の著作権およびライセンス

このドキュメントはあわしろいくや<sup>13</sup> が保守しています。

このドキュメントは、Creative Commons ShareAlike 3.0 License (CC-BY-SA)のもとで利用可能とします。貢献者は以下のとおりです。

---

11<https://wiki.ubuntu.com/DocumentationTeam>

12<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.5/deed.ja>

13<http://blog.goo.ne.jp/ikunya/>

mizuno

このライセンスのもとであれば、利用者は自由に改変、加筆、改善することができます。すべての派生物はこのライセンスのもとでリリースしなければなりません。

この文書は利用者の便宜になることを期待して配布しますが、何らの保証をするものではなく、また、免責条項に記載のある通り、商品性や特定用途に対する適合性を暗黙に保証するものでもありません。

このライセンスのコピーは以下で参照可能です:Creative Commons ShareAlike License<sup>14</sup>

## 商標

Ubuntu and Canonical are registered trademarks of Canonical Ltd.

## バージョン情報

7.04-070718 …章番号など微調整

7.04-070717 …typoなど微調整

7.04-070715 …初版

---

<sup>14</sup><http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/deed.ja>

